

一般社団法人山梨県言語聴覚士会

第9回学術大会

プログラム・抄録集



「繋げる・支える・考える」

～我々の実力と未来～

大会長：赤池 洋（山梨大学医学部附属病院）

会 期：平成28年11月27日（日）

会 場：山梨大学医学部キャンパス 臨床大講堂



ご挨拶

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 第9回学術大会
大会長 赤池 洋

この度、一般社団法人山梨県言語聴覚士会第9回学術大会を平成28年11月27日(日)に山梨大学医学部キャンパスで開催させて頂くことになりました。近年、言語聴覚士が活躍する領域は幅広く、また様々な制度の変化に伴い、活動範囲は変化を続けています。しかし、医療に限らず地域などの多方面では言語聴覚士について十分に知られているとは言えない現実があります。そこで今回の学術大会のテーマを「繋げる・支える・考える」～我々の実力と未来～とし、山梨県内STの現状を知ると共にこれからのST領域について考えてみたい、というコンセプトから本大会を企画致しました。

特別講演では山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授の増山敬祐先生より「嚥下障害に対する耳鼻咽喉科医の役割」、日本言語聴覚士協会会長の深浦順一先生より「言語聴覚士と言語聴覚療法の未来」と題してご講演を頂きます。新しく有益な知識が多く得られる絶好の機会ですので、ご期待頂きたいと思っております。また、一般口演では失語症・高次脳機能障害、発達障害、摂食嚥下障害、実践報告と各分野からの演題が集まり7名の先生方から日々の臨床や取り組みの成果が発表されます。会場では前向きで活発な討議をして頂きたいと思っております。さらに、学術大会では初めての試みとして会場に各施設の紹介ポスターを掲示し、山梨県内ST同士で情報交換ができる場を設けたいと考えております。昨今、2025年の地域包括ケアシステムに向けて地域で活躍するSTが求められていますが、山梨県では病院などの医療機関では80%以上、地域など介護分野では約5%でSTが活躍しているのが現状です。医療から介護におけるリハビリのスムーズな移行を目指し、地域包括ケアシステムに向けた山梨県内STの情勢を共に分かち合っ頂きたいと思っております。そして学会当日には例年同様にチャリティーバザーの開催と賛助会員様による企業展示も企画致しましたので、そちらにもご参加宜しくお願い致します。

最後となりましたが、本大会の運営については学術大会実行委員の皆様のご協力とご支援を頂きながら準備を進めております。会員の皆様にとって本大会が実り多いものとなりますよう、ご参加とご協力を心よりお願い申し上げます。



第9回学術大会の成功を願って

今大会のテーマ「繋げる・支える・考える」

～我々の実力と未来～ に想うこと

一般社団法人山梨県言語聴覚士会
会長 内山 量史

この度、第9回学術大会が赤池洋先生を大会長、小池京子先生を実行委員長として開催されることを心よりお喜び申し上げます。開催にあたり事前の準備ならびに運営に携わられた26名の実行委員や査読委員の皆様には県士会を代表してお礼を申し上げます。

平成21年に第1回の学術大会を実施してから県士会事業の一大イベントとして毎年開催されている学術大会も9回目を迎えます。歴代の大会長や実行委員長、実行委員を務められた皆様が次世代を担う会員へ役割を継承しながら指導的な立場として学術大会の運営に関わっている姿はまさに「繋げる」です。また、これまでの数十名の会員の演題発表にあたっては、所属施設の先輩や査読委員が熱意を持って指導し、当日の発表を「支える」役割を果たしてきました。演題発表をされた多くの会員は「考える」ことを体験し、日本言語聴覚学会をはじめとする全国学会の発表へと学術大会での経験を活かしてくれております。

今大会のテーマ「繋げる・支える・考える」～我々の実力と未来～ はこれまでの学術大会の歴史そのものであり、当会の蓄積された“力”を象徴するキャッチコピーだと思われれます。

しかし、リハビリテーション専門職を取り巻く環境に着目すると、超高齢化社会を反映し対象者の疾病構造の重症化により言語聴覚療法はさらに複雑になっております。また、社会保障制度の改革により「医療施設から住み慣れた地域へ」の施策が進み在院日数を短縮される中で効果的・効率的なリハビリテーションを提供しながら介護保険サービスを含めた地域資源の活用やその人が暮らす地域までを考慮した関わりが必要となっております。言語聴覚士はこのような多様化するニーズに的確に対応する能力が求められます。それを実現させるには個人レベルの専門知識の研鑽はもちろん組織的な人材育成、関連諸団体との強固な連携を通じた顔の見える関係作りが急務となっております。

今大会のテーマは現在のリハビリテーション専門職の立場に警鐘を鳴らす反面、今こそ言語聴覚士の実力を発揮して未来にこの領域を発展させて繋げるという意気込みと勇気を感じさせてくれます。

今大会には2つの特別講演が企画されております。増山敬祐先生（山梨大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授）の「嚥下障害に対する耳鼻咽喉科医の役割」では在宅復帰を左右する摂食嚥下リハビリテーションの知識を深め、自らの臨床観を見つめ直す契機になるものと思われれます。また、日本言語聴覚士協会の深浦順一会長の「言語聴覚士と言語聴覚療法の未来」では現状の課題を整理し今後、我々が果たすべき役割について示唆を与えていただけるものと確認しております。

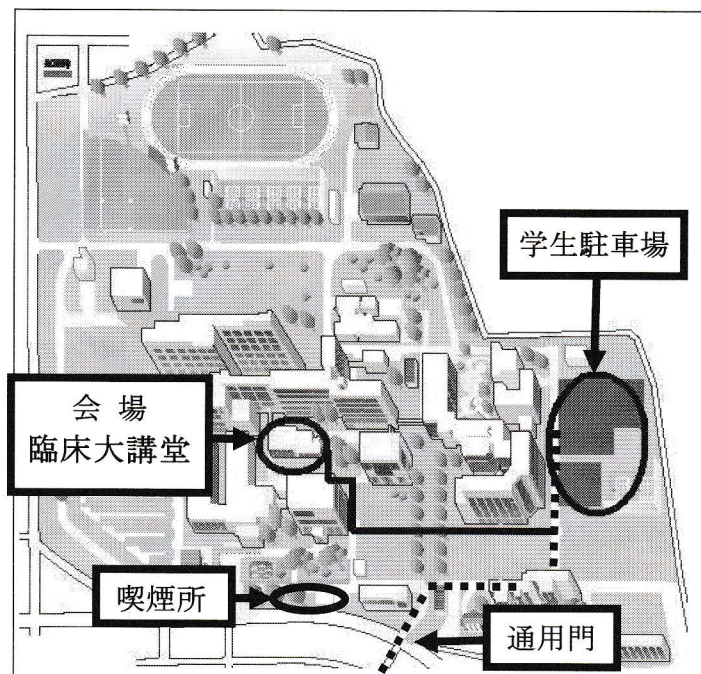
最後に、第9回学術大会が多くの会員の参加を頂き、活発な意見交換のもと臨床の質を更に高める大会になることを心から願っております。

明るい未来に繋げるために現代を頑張ろう!!

【会場案内】

山梨大学医学部キャンパス 臨床大講堂

〒409-3898 中央市下河東 1110 TEL : 055-273-1111 (代表)



<バス>

甲府駅南口バスターミナル8番乗り場より
「山梨大学病院」行き 約30分で終点下車

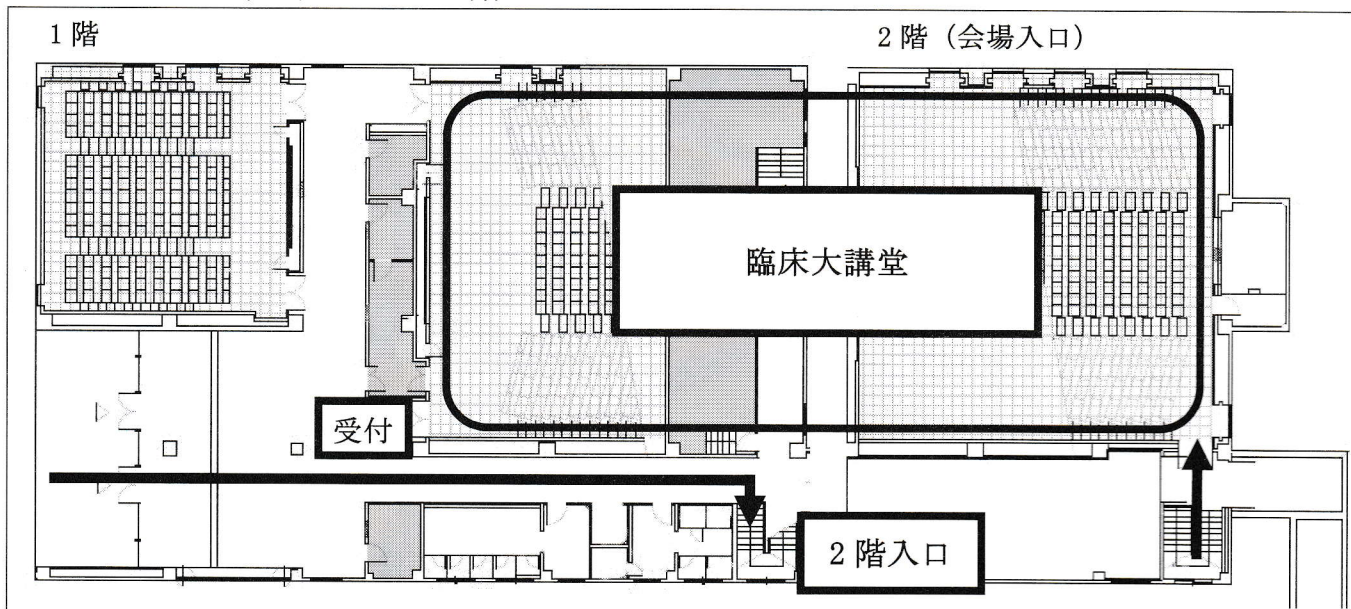
<電車>

甲府駅にてJR身延線へ乗り換え 約15分
JR身延線「常永駅」より東南へ 徒歩15分

<自動車>

大学構内西側の学生駐車場をご利用ください。
学生駐車場入り口は通用門になります。
学生駐車場以外の場所にとめないように十分
ご配慮ください。有料でもよろしければ、
立体駐車場をご利用ください。

会場：臨床講義棟 臨床大講堂



- ・敷地内は全面禁煙となっております。ご理解とご協力をお願いいたします。指定された喫煙所をご利用ください。
- ・2階入口へ向かう1階の通路にて、一般社団法人山梨県言語聴覚士会の会員施設の紹介ポスターを展示しております。ぜひ、ご覧ください。
- ・臨床講義棟1階ロビーにて、11時40分から、東日本大震災の復興支援を目的としたチャリティバザーを行います。趣旨にご賛同いただける方は、ご協力をお願いいたします。
- ・臨床講義棟1階ロビーにて、11時40分から、賛助会員様による企業展示を行います。ぜひ、ご覧ください。

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 第9回学術大会プログラム

8:50 受付開始

9:20 開会式

開会挨拶
大会長挨拶
来賓挨拶
会長挨拶
日程の説明

9:40 口演1 失語症・高次脳機能障害 座長：矢澤 史帆（湯村温泉病院）

9:40 ①接近行為の中に形式性錯語を多く含んだ伝導失語の一症例
甲州リハビリテーション病院 高野 妙美

9:55 ②豊かなコミュニケーション生活を支えるための言語聴覚士の役割
－外出を目指した訪問リハビリテーションの取り組み－
甲府城南病院 小室 理恵子

10:10 口演2 報告 座長：市川 奈弥（巨摩共立病院）

10:10 ③当院の介護予防事業における言語聴覚士の現状と展望
笛吹中央病院 山田 徹

10:25 ④voice prosthesisを使用したシャント発声患者のための
支援活動の現状と言語聴覚士の果たす役割
山梨大学医学部附属病院 前田 恭子

10:40～10:55 休憩（15分）

10:55 口演3 発達障害 座長：中村 晴江（甲府城南病院）

10:55 ⑤カレンダーを使ったコミュニケーションスキルアップの取り組み
ノーサイドクリニック 甲府教室 渡邊 そのみ

11:10 口演4 嚥下障害 座長：佐々木 蘭子（春日居サイバーナイフ・リハビリ病院）

11:10 ⑥完全側臥位法を導入して ー当院の現状と課題ー
富士吉田市立病院 舟越 誠治

11:25 ⑦認知期障害による口腔内の溜め込みに対するアプローチ
－赤ちゃんせんべい法の応用－
甲府城南病院 野口 愛奈

11:40～13:00 昼休み（80分）

施設紹介ポスター展示・チャリティバザー・企業展示

13:00 特別講演Ⅰ 座長：赤池 洋（山梨大学医学部附属病院）
「嚥下障害に対する耳鼻咽喉科医の役割」
国立大学法人山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授 増山 敬祐

14:40～15:00 休憩（20分）

15:00 特別講演Ⅱ 座長：内山 量史（春日居サイバーナイフ・リハビリ病院）
「言語聴覚士と言語聴覚療法の未来」
一般社団法人日本言語聴覚士協会 会長 深浦 順一

16:40 閉会式
講評
閉会挨拶
終了

◆学術大会参加者の方へ

- ・参加費 1,000 円が必要です（当日受付にてお支払いください）。
- ・事前登録が必要です。
- ・受付は各自でお願いいたします。
- ・お弁当を申し込まれた方は、施設ごとにお受け取りください。お飲み物は付きませんので、各自でご用意ください。
- ・お弁当代 600 円は、専用の受付で施設ごとにお支払いください。
- ・お弁当の事前申し込みをされていない方は、各自で昼食をご用意いただくか、院内や近隣の店舗をご利用ください。
- ・臨床大講堂での飲食は可能ですが、ごみは専用のごみ袋にお入れください。

◆座長の方へ

- ・担当演題群の開始 10 分前には次座長席にお着きくださるようお願いいたします。

◆口演発表者の方へ

- ・発表 7 分、質疑 8 分です。発表時間は厳守してください。
- ・発表終了 1 分前と終了時に合図でお知らせします。
- ・演者は発表の 10 分前までに次演者席にお着きくださるようお願いいたします。
- ・スライド（PowerPoint）の送り操作は、発表者ご自身でお願いいたします。

◆質疑応答について

- ・質問をされる方は、座長の許可を得て、所属・氏名を述べてからお話してください。